



更女だより

●吉川地区更生保護女性会 〒342-0061 吉川市中央3-43-22 ☎048-981-3690



毎年人気の
編みぐるみ!



青パパイヤの木を
見て興味津々!!
作り方も聞いて
いました♡

販売品の一例です

- ☆編みぐるみ大・中・小 ☆おしゃれ袋入り割り箸
- ☆ソフトクレイのマグネット ☆青パパイヤの実
- ☆三角ストール ☆ミニマフラー ☆ネームホルダー
- ☆額飾り ☆クリスマスリースetc.

たくさんの市民の皆さん、会員の皆さんにご協力いただきました♡感謝!





地域みな様 ご協力ありがとうございました。
令和6年度 愛の募金総額 790,000円

(この金額の25%は県更女連盟に納付されます)

《主な用途》

- ★愛の図書費…市内小中学校へ贈呈
- ★地域活動費…子育て支援活動、社協・青少年育成事業助成、研修・更女だより発行
- ★清心寮への助成

上記の金額は市内の自治会・事業主・有志のみな様からいただいた貴重な募金です。

日頃から当会の活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。みな様の善意のお気持ちをしっかり受け止めて、これからの取り組みに有効活用させていただきます。



令和6年7月7日(日) イオンタウン吉川美南 東棟1階

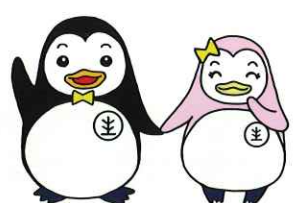
第74回 吉川市
「社会を明るくする運動」大会



第74回 社会を明るくする運動



- 吉川市推薦作文
 坪谷 結藍(中曽根小学校6年)
- さいたま保護観察所長賞
 對馬 優(吉川小学校2年)
 山崎 千穂(旭小学校6年)
 糸日谷 舞(吉川中学校3年)
- 埼玉県更生保護女性連盟会長賞
 岡田 菜々(旭小学校6年)



会長挨拶



ひかり もとこ
会長 光 素子

この度、第7代会長を務めることになりました光と申します。
全国的に展開されているこの会が吉川市に発足したのは、今から47年前の昭和53年6月のことでした。当時は全員で19名でした。自分たちの友人知人など一件ずつ主旨を語り、協力者を増やしていく活動をしたそうです。

当会の主旨は、罪を犯した人が再び罪を犯さずに、社会の一員として地域に貢献していける様に、陰ながら応援する女性のボランティアの会です。今では、地域の自治会様・町会様・個人事業主様・友人知人へと応援して下さる方々のお陰で輪が広がっています。また、罪を犯すことのない社会人を地域の力で育てようと子育て支援と見守り活動を続けています。

私は、まだ13年間しか活動に関わってはいませんが、その間、どんなことにもまじめに真摯に取り組む先輩方の姿を目の当たりに学んでいたことは、大きな宝物を育ててさせていただいた気持ちです。これからも、次の代へと繋いでいけるよう、微力ながら会員と共に努力していく所存です。よろしくお願いいたします。



愛の図書費贈呈



本年も10月15日から18日の4日間で市内各小中学校に
愛の図書費をお届けしました♡



美南小学校



東中学校

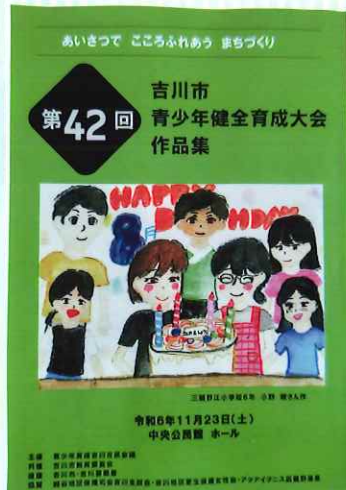


吉川小学校



大会終了後、
更女の啓発活動として、
広報紙の配布をしました。

この大会では、市内小中学生による
あいさつに関する標語と
小中高生による少年の主張の
発表と表彰を行っています。



令和6年11月23日(土)
中央公民館ホール

青少年健全育成大会



令和6年9月18日(水)
茨城県水戸刑務所施設見学

施設見学に参加して

竹森 美恵子

9月18日(水)吉川地区更生保護女性会の会員22名で、茨城県水戸刑務所の施設見学に行きました。

朝8時30分に吉川市役所を出発し、途中友部サービスエリアで休憩。那珂湊おさかな市場で買い物と食事を済ませてから、水戸刑務所に向かいました。

所長さんからの説明を受けた後、施設内の見学をしました。施設内は衛生面や安全な環境が考えられていてびっくりしました。作業場も動きやすいように、部品なども用意されていて、受刑者同士がぶつからないように考えられています。また、希望者には刑が終了した後、自立の道を踏み出すために高校卒業程度認定試験も毎年実施しているそうです。

また、厳しい監視とルールの中、職業訓練を通して改善更生と社会復帰に向けての矯正処遇を義務付けられていると聞きし、改めて出所後の再犯を繰り返さないような社会になるように、私たち更女の協力も必要だと思いました。

帰りには作業製品販売店に寄り、丁寧に作られた様々な製品を購入することができました。普通ではなかなか見学できない施設なので、今回参加できて良かったです。



中堅会員研究協議会に参加して

鈴木 静江

令和6年11月15日埼玉共済会館にて開催され、埼玉県更生保護女性連盟会長 青木照子氏の挨拶があり、次にさいたま保護観察所長 猪間徳子氏からの活動報告がありました。

公演は、一般社団法人 日本更生保護女性連盟事務局長の大場玲子氏の「ナイフと花束」でした。

言葉というものは、いったん口から発せられると二度と戻りません。

影も形もないものなのに、同じ状況にあつても人の心を明るくも暗くもする。

時には言葉ひとつで、あたたかくやさしい花のような明るい気持ちになる。

また、冷たく鋭くナイフのように心がえぐられる言葉になる。

人に伝えることの難しさ、これからは少しでも言葉を選んでいきたいと思いました。



更生保護法人 清心寮 訪問 令和7年3月4日

【清心寮とは】

刑務所出所者等のうち、身寄りも帰る先もない人を受け入れる専門施設で、ここで生活しながら職探しなど自立の取り組みができ、寮生の社会復帰を後押しする施設です。

毎年、会員の皆様から頂いたタオル・下着類をお届けしています。この活動は今後も継続していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

更女だより24号を無事、皆様のお手元に届けられる事ができました。

光 新会長とともに、これからの活動と役割を、再構築していきます。会員の皆様、今後ともご協力をお願いいたします。

また、退任された小野田前会長におかれましては、長期にわたり吉川地区更女を支えて頂きましたことを、感謝申し上げます。

受賞 おめでとうございます

さいたま保護観察所長感謝状

鈴木 静江

埼玉県更生保護女性連盟会長表彰

島田 良子

羽角 早苗